



憲法9条の会つくば ゆい 結

コミュニティニュース

2009.5.17 No.27

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005 つくば市天久保 1-10-12, 1-401

電話 090-3811-3753 Fax 029-856-2286

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

草の根のように「憲法9条を変えさせない」運動を拡げましょう！

新緑が美しい5月、さわやかな風に乗って鯉のぼりが、“平和っていいな”と歌っているようです。戦後の焼け野原から誕生した日本国憲法も、施行から62年を迎え、今年も「憲法を守ろう」「9条を変えるな」と大きな声が日本列島に響き渡りました。

今、憲法をめぐる草の根のせめぎあいが激しさを増しています。朝日新聞の世論調査では「9条を変えない方が良い」が64%で、「変える方が良い」(26%)を大きく上回りました。昨年、護憲派が改憲派を上回った読売新聞の世論調査では改憲派が逆転しましたが、「9条を変えない」が54%と半数を超えています。日高教が行った高校生を対象とした「憲法意識調査」でも、「9条を変えない方が良い」が61%を占め話題になりました。2004年調査の44%から17%も増加したからです。しかも、「変えない方が良い」の理由の筆頭が、「9条を変えると戦争への道を開く恐れがある」で74%を占めています。自衛隊の海外派兵などで「戦争への道」への危機感が大きくなっていることの現われであり、全国の7300を超える「九条の会」の「9条を守ろう」という運動の拡がりの結果といえるでしょう。



4月の北朝鮮の「飛翔体発射」によって日本はあたかも戦時の警戒警報下にあるような状態にあった時、チェコのプラハで、オバマ大統領は歴代大統領として初めて、アメリカの「核兵器を使用した唯一の核兵器保有国」としての「道義的責任」を明らかにし、「核兵器のない平和で安全な世界」をめざすことを国家目標とすると宣言しました。

他方、「世界で唯一の被爆国」である日本の自民党議員は、北朝鮮の攻撃が現実化を増したとして「核武装論」や「敵基地攻撃論」を唱えはじめました。さらに、与党はソマリア沖での「海賊対策」を口実に自衛隊の恒久的な海外派兵と武器使用を認める「海賊対処新法」の制定をねらっています。

来年5月の国民投票法（改憲手続き法）施行に向け、総務省もパンフレットを大々的に配布中です。憲法を変えようとする動きが活発になってきています。今こそ、核も戦争もない世界をめざし、戦争を放棄した憲法9条を守り生かす草の根の運動を大きく拡げていきましょう。



「結」27号のおもな内容

- 1面：今、憲法9条は？
- 2面：賛同を拡げる運動・4周年集い予告
- 3面：憲法フェスタ・「反貧困」シンポジウム・ガザ講演会の感想・3月勉強会のまとめ(横井)
- 4面：「戦争を想う、平和を想う」(梅田) インフォメーション

行 動 予 定

- 6月7日(日)・7月5日(日) 定例署名行動 6/7 並木ショッピングセンター北側駐車場 12:30 集合 13時~14時
- 7/5 中央公園アルス図書館前 11:30 集合 12時~13時
- 6月事務局会(日未定)、7月19日(日)定例会 10時~12時半 6/** 並木公民館、7/19 手代木公民館
- 7月21日(日)勉強会「自衛隊の現状など」講師：阿部 定例会後(11時半頃~) 定例会はどなたも参加可!

会の活動から

「個人署名」が続々届いています！ NO.2

Tさん： 親しくしている方に署名をいただいた。日頃から、つぶやいているのですぐに賛成してくれた。私もそうだが、いざ署名とかになると尻込みをする人もいます。尻込みをするのではなく、また日本人の体質なのかもしれないが周りにあわせるのではなく、積極的に向かっていく姿勢を見せるようにしないと、と思っている。1年後に国民投票法施行をひかえ、今こそ大きな声をだして、本気で頑張っていかなばと思う。

Tさん： 教会に来る方、周りの方へ声をかけました。

Aさん： 教育関係の仕事をしている。教育基本法が変えられ、憲法まで変えられたら、どうなるのか。「9条を守ろう」と周りで話している。これからもできる範囲で話しかけていきたい。

◇ ご協力ありがとうございました。個人署名を5弁の花に喩えれば、花から種へ、種から花へ、つくば市を“花いっぱい”の花畑にしたい！ですね。今回、紙面の都合で掲載できなかった談話は次号に掲載します。(事務局)



「5/1つくば中央メーデー」

今年も、会場で宣伝・署名行動にとりくみました。チラシを250枚配布し、313名の方に署名をいただきました。

「会」を代表して挨拶した堀部さんの談話： 歌（「9条でゆこう」とメッセージでしたが、憲法9条の平和と25条の生存権はリンクしているので共に頑張りましょうと、呼びかけました。挨拶に歌を入れることで、9条の会が「面白い会だな」ということが伝わり、多くの方が、参加してくれるように願っています。

◆賛同人 5月8日現在

総数 691名 (市内 523名)

「4周年記念のつどい」(11/1)までに
賛同人1人が1人の賛同人を！

◆9条署名 5月1日現在 累計：7093筆

(4月定例街頭署名行動：85筆

5.1メーデー行動：313筆

個人署名：累計204筆)

つくば市母親大会で分科会

日時：6月21日(日)午前10:00～

場所：市民ホールつくばね&筑波公民館

「女性の人権の視点から、戦争を考える」：先の戦争の中で慰安婦とされ、苦渋と憤怒に満ちた人生を送り、今もまだ苦しみ続けているアジアの女性たちの生涯をたどり、戦争について、女性の人権について考えます。助言者の吉川春子さんは参議院議員のとき、「慰安婦」問題について国会で48回質問に立ち、政府の正式な謝罪と損害賠償を求め続けた人。(憲法9条の会つくば・戦争を語り継ぐ女性の会担当)

“輝け！憲法、守ろう！いのち、2009”

「憲法9条の会つくば」

4周年記念のつどい

実行委員を募っています！

「4周年記念のつどい」フシ予告

日時：2009年11月1日(日)

午後1時30分 (開演予定)

会場：つくばカピオホール

記念講演：小森 陽一 さん

文化行事他：アイデア募集中！

<小森陽一さんプロフィール>：「九条の会」事務局長/国文学者、東京大学教授、言語情報科学専攻
著書：「表現する人びと」、「村上春樹論—『海辺のカフカ』を精読する」、「ことばの力 平和の力—近代日本文学と日本国憲法」他、共編著：「戦後日本は戦争をしてきた」、「壊れゆく世界と時代の課題」他、多数

2009憲法フェスティバル に参加して 憲法記念日の5月3日、全国各地で憲法集会が開催されました。茨城は水戸市千波公園で「憲法フェスティバル」が開催され、参加者は1000名をこえました。私も9条の会つくばの貸切バスで参加しました。今年は「9条の会交流会」が企画され16団体が参加、各団体から活動報告がされました。「来年5月の国民投票法施行により、9条運動はいつも緊張状態に置かれることになる」との田村武夫代表委員の挨拶は、これからが正念場との思いを強くしました。元「ザ・ニューズペーパー」リーダーの松崎菊也さんの歴代首相の物まね風刺コントは、爆笑の連続だったという感想も聞かれました。帰路のバスは、小学4年生のW君のクイズで盛り上がり、あっという間につくばに到着しました。(武田)



現代の貧困問題と憲法 に参加して

講師が元「年越し派遣村の村長」湯浅誠氏というので勇躍参加。現代貧困の特徴は、安全網が機能してなく足を踏み外すと一気にどん底まで落下し、一旦落ちると這い上がる術なく貧困の連鎖に陥る。それを個人の頑張り不足などと自己責任に転嫁する無責任政治。そこに一層深刻化する現代貧困の構造的問題があると言う。正鵠を得た指摘であり、そんな政治の流れをチェンジしない限り貧困連鎖からの脱却は困難との意を強くした。より多くの人に聞いてほしい講演であった。(佐藤弘)

文芸9条 ほっとタイム

◇ 国政の影や廃屋 踏の原
 ◇ こいのぼり泳ぐ安堵や 過疎の村
 ◇ 母の日の 乳房ふむむ児 涙あと
 貧困と格差が子供たちの中にも押し寄せてきています。どの子の未来も明るく、希望に満ちたものであって欲しいです。

安田 (松代)

ガザ講演と映画の会 の開催に想う

3月29日の日曜日のひと時、岡真理さん(京都大学)をお招きして、「ガザへの攻撃は、終わっていない」と題する講演と記録映画「Women in Struggle」の上映会(「パレスチナ問題講演・上映会実行委員会」主催)を開催しました。2008年12月27日から始まったイスラエルのパレスチナ・ガザ地域への軍事進攻で連日多数の死者・負傷者が出ているとの現地からのメールを、息をのむ思いでただ見守るだけの日々を送る苦しさを経験しました。日本のマスメディアが伝えようとしないこの事実、その意味するものを、多くの人に正しく伝え、イスラエルのガザ侵攻について考えてもらいたい、との思いからの行動でした。参加者は約100人。東京からも6人が駆け付け、講師を囲んでの話し合いは予定を超えて1時間にも及びました。(長田)

勉強会・・・「茨城空港問題」・・・ (3月15日定例会にて)

茨城空港は、つくば市から約35km、国と茨城県が小美玉市にある自衛隊百里飛行場の民間共用化事業を総事業費516億円で進めています。来年3月開港予定ですが、唯一就航表明しているのは韓国のアシアナ航空のみ、国内定期便はまだ決まっていない状態です。また、以下の問題が指摘されています。



- ①首都圏第3番目の空港として、年間81万人の需要を予測しているが、経済状況や既存の地方空港の状況を見ての計画の見直しがされていないので、税金の無駄遣い。
 - ②自衛隊の滑走路から210メートルしか離れていないところに新滑走路を建設。そのため、ISL(計器着陸装置)が設置できないため、悪天候の時には空港使用不可。
 - ③米軍再編による日米訓練基地になり、訓練が行なわれており、危険な空港。
- すでに新滑走路は完成し、1月末から連日自衛隊機の練習に使われていることが県議会で明らかになりました。新滑走路は現滑走路の西側に位置し、より民家に近いため、騒音区域が拡大し、基地が強化されて来ています。改めて「茨城空港」の是非が問われていると思います。(横井 学習担当)

戦争を想う、平和を想う

「私の経験から想うこと」

梅田 一徳（つくば市小野川）

第二次世界大戦時、父は私をお腹に抱えた身重の母を残して、南方の戦場へ出兵しました。幸い終戦前に帰国を命ぜられ、86歳まで生きました。母の話では、父の出兵中、現在の東京都昭島市に住んでいて、空爆のたびに、乳飲み子の私（1944年4月生まれ）をおんぶして防空壕に逃げ込んだそうです。当時の母の気持ちはどれほどのものであったか、知る由もありません。

東京は、1944年11月14日以降に106回の空爆を受けています。特に1945年3月10日、4月13日、4月15日、5月25日に大規模な空襲を受けています。

私の記憶に残っていることといえば、朝鮮戦争の頃（6歳）のことです。住まいが米軍横田基地に直線で1kmもないほど近かったこともあり、夜間何度か空襲警報（訓練だったような気もする）がなあって、灯りが漏れないよう電灯を風呂敷などで覆い暗い状態でじっと我慢することがありました。その時は子供心に怖い思いをしたのを思い出します。さらに、小学生になってからは横田基地から飛び立つジェット戦闘機の騒音に悩まされました。教室は防音のため2重窓になっていましたが、それでも授業に支障がありました。あまりにもジェット戦闘機の騒音が激しいので、校庭で遊んでいる時などジェット

戦闘機に向かって遊び半分で石を投げつけたりしました。その小学校で、夜、映画会が催された時のことです。横田基地の中で誤って爆発がありました。その爆発音と振動は恐怖そのものでした。爆発現場からは何度も爆発音とともに真赤な火柱と黒煙が上がり、体を震わせながら自宅へ逃げ帰った記憶があります。戦争では目の前でこのようなことが起こり、人命が失われるのです。未来を担う子供たちに、このような経験はさせたくありません。

日本には、世界に誇れる平和憲法があります。未来永劫これを守り発展させなければなりません。そのためにも、九条の会の活動は重要です。

人それぞれ得意なやり方スタイルで活動することが、息永く多くの人に理解されていくことに繋がると考えています。紛争があった場合、暴力ではなく話し合いで解決できる能力を備えているのが人間です。核兵器や武器が不必要となる世の中に一日でも早く到達できる日を夢見ているのは、私だけではないと思います。その理想に向かって共に頑張ってください。



インフォメーション

◇講演と対話のつどい「日本の宇宙開発と憲法9条の価値」：講師：石附 澄夫 さん（国立天文台）

日時：5月24日（日）14:00～17:00

場所：大穂公民館視聴覚室 ※入場無料

※主催：筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会

問合せ先：TEL. 029-857-6593（茅野）

◇経済講演会「こうすれば暮らしはよくなる」：

講師：山家 悠紀夫 氏（「暮らしと経済」専門家）

日時：2009年6月21日（日）13:30～16:00

場所：友部公民館 ※資料代：500円

※主催：九条の会・かさま

問合せ先：TEL. 0296-74-4701（田口）

◇九条の会講演会「加藤周一さんの志を受けついで」：

講演：井上 ひさし、大江 健三郎、奥平 康弘、

澤地 久枝の各氏、

矢島 翠さん（加藤さんのパートナー）参加

うた：「さくら横丁」（作詞：加藤周一）

ソプラノ：大橋 ゆり、ピアノ：村上弦一郎

日時：6月2日（火）18:30～（開場：18:00）

場所：日比谷公会堂（千代田区日比谷公園内）

※入場、先着順：1000円（前売り）、1500円（当日）

※申し込み：九条の会、（入場券〇枚希望と記載して

口座番号00180-9-611526へ）

※主催：九条の会

問合せ先：TEL. 03-3221-5075（事務局）